本製品は ISO 9001 認証事業所において製造されています。

人にやさしく
環境にもやさしい

環境対応型

水系コンクリート防食工法

ショウゼット ハイドロコート®

［上水施設・下水施設用］

SHOWA DENKO KENZAI K.K.

環境対応型　水系コンクリート防食工法

ショウゼットハイドロコート®

上水施設・下水施設用

特長

環境対応型
VOC・環境ホルモン物質を一切含まない材料です。
作業する人にやさしく、作業環境に配慮した安心・安全な材料です。

作業性
一液材料のため混合不良等による硬化不良がおこりません。
厚塗り可能な材料のため容易に塗膜厚みを確保できます。

塗膜性能
塗膜には可撓性があり
コンクリートの動きに対する追従性があります。

安全性
有機溶剤を含まないので、
引火燃焼及び中毒の危険がありません。

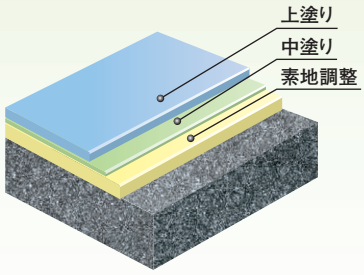
日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」品質規格に適合
東京都下水道局「コンクリート改修マニュアル」品質規格に適合

ショウゼットハイドロコート®下水工法ラインナップ

◆A種対応

ショウゼットハイドロコート®A工法

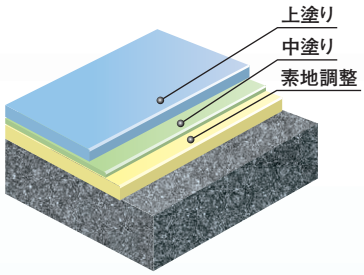
工程	使用材料	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整	ショウゼット®SA-1	1.0	金コテ等	−
中塗り	ショウゼットハイドロコート®N	0.2	ローラー等	0.3mm以上
上塗り	ショウゼットハイドロコート®T	0.4	金コテ・吹付け等	



◆B種対応

ショウゼットハイドロコート®B工法

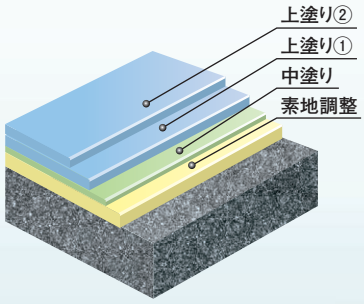
工程	使用材料	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整	ショウゼット®SA-1	1.0	金コテ等	−
中塗り	ショウゼットハイドロコート®N	0.2	ローラー等	0.4mm以上
上塗り	ショウゼットハイドロコート®T	0.6	金コテ・吹付け等	



◆C種対応

ショウゼットハイドロコート®C工法

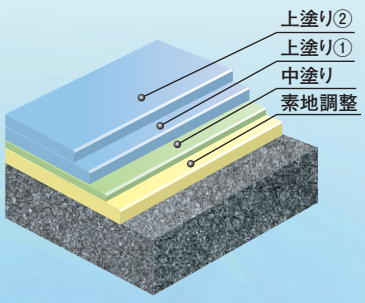
工程	使用材料	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整	ショウゼット®SA-1	1.0	金コテ等	−
中塗り	ショウゼットハイドロコート®N	0.2	ローラー等	0.6mm以上
上塗り①	ショウゼットハイドロコート®T	0.5	金コテ・吹付け等	
上塗り②	ショウゼットハイドロコート®T	0.4	金コテ・吹付け等	



◆D1種対応

ショウゼットハイドロコート®D1工法

工程	使用材料	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	硬化後設計厚さ
素地調整	ショウゼット®SA-1	1.0	金コテ等	−
中塗り	ショウゼットハイドロコート®N	0.2	ローラー等	0.8mm以上
上塗り①	ショウゼットハイドロコート®T	0.7	金コテ・吹付け等	
上塗り②	ショウゼットハイドロコート®T	0.6	金コテ・吹付け等	



※色は便宜上の使い分けであり、製品の色とは異なります。

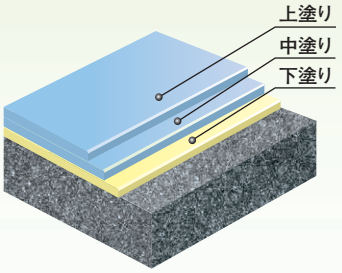
日本水道協会「JWWA K 143：2004」浸出試験適合
厚生省令第15号「水道施設の技術的基準を定める省令」浸出試験適合

ショウゼットハイドロコート®上水工法

◆吹付工法

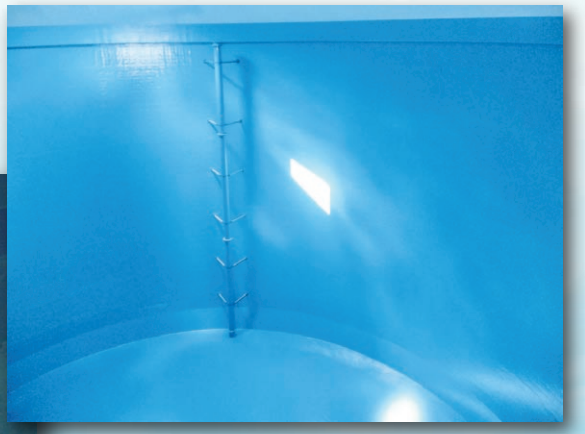
ショウゼットハイドロコート®JW-S工法

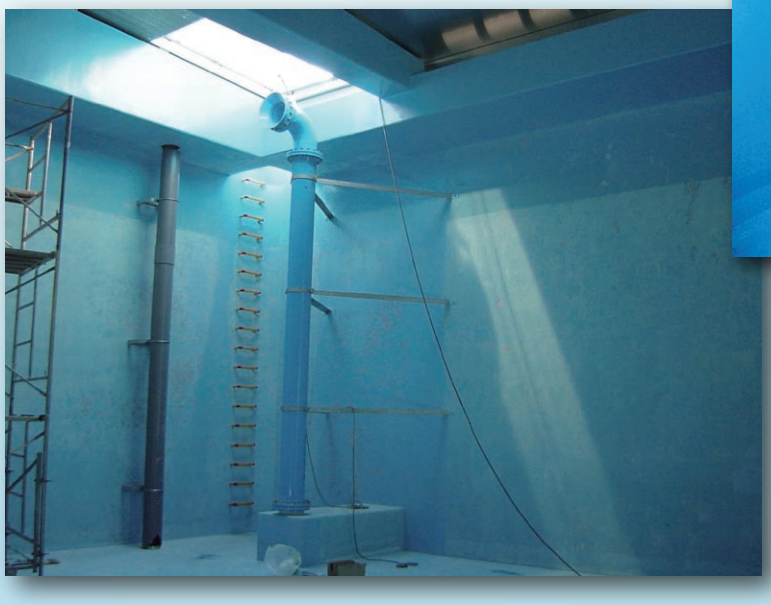
工程	使用材料	標準使用量 (kg/m²)	施工方法	硬化後設計厚さ
下塗り	ショウゼットハイドロコート®JW +専用骨材	0.4	金コテ等	0.5mm以上
中塗り	ショウゼットハイドロコート®JW	0.4	金コテ・吹付け等	
上塗り	ショウゼットハイドロコート®JW	0.4	金コテ・吹付け等	



◆副資材

- ショウテック早強 ― #100、#200、軽量厚付 急結高強無収縮既調合モルタル
- ショウワ厚付 ― 特殊繊維入り高強度無収縮ポリマーセメントモルタル
- ショウワ厚付JW ― 特殊繊維入り高強度無収縮ポリマーセメントモルタル（厚生労働省令第5号水質基準適合）
- ショウワグラウト ― 高性能無収縮プレミックスモルタル（厚生労働省令第5号水質基準適合）





性状

◆ショウゼットハイドロコート®下水用

品名	ショウゼット® SA-1			ショウゼット ハイドロコート®N	ショウゼット ハイドロコート®T
主成分	（主剤） エポキシ樹脂	（硬化剤） 変性脂肪族ポリアミン	（粉体） ポルトランドセメント等	スチレンアクリル酸エステル共重合体／ポリスチレンフィラー	スチレンアクリル酸エステル共重合体／ポリスチレンフィラー
配合比（重量比）	主剤:硬化剤:粉体＝1:1.25:6 (2kg:2.5kg:12kg)			–	–
硬化物比重（25℃ g/cm³）	1.78			1.28	1.28
外観（色調）	灰褐色			グレー	グレー
荷姿	16.5kg／缶			18kg／缶	18kg／缶

◆ショウゼットハイドロコート®上水用

品名	ショウゼット ハイドロコート®JW	＋	ショウゼット ハイドロコート®専用骨材	ショウゼット ハイドロコート®JW
主成分	スチレンアクリル酸エステル共重合体／無機フィラー		専用骨材	スチレンアクリル酸エステル共重合体／無機フィラー
配合比（重量比）	5：1			–
硬化物比重（25℃ g/cm³）	1.44			1.55
外観（色調）	ブルー		–	ブルー
荷姿	15kg／缶		3kg／袋	15kg／缶

注意事項

〈施工上の注意〉

①気温が5℃以下、35℃以上、湿度が85%以上の場合は作業を中止するか、環境改善処置を行った上で施工してください。

②撹拌混合不良になると硬化不良の原因になりますので、撹拌には十分注意してください。

③温度及び湿度が高い程、配合量が多い程、可使時間は短くなります。

④施工については各工法の標準施工要領書をご参照ください。

〈応急措置〉

①吸入した場合

蒸気、ガス等を吸入して、気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受けてください。

②皮膚に付着した場合

付着した衣服、靴を脱ぎ付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄してください。

③眼に入った場合

清浄な水で15分間以上洗眼した後、直ちに眼科医の手当を受けてください。

④飲み込んだ場合

水で口の中を洗い、直ちに医師の手当を受けてください。

⑤応急措置をする者の保護

状況に応じて適切な保護具を着用してください。

〈火災時の措置〉

①消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素消火薬剤、砂、霧状水を用いてください。

②使ってはならない消火剤

棒状水は、火災を拡大し危険な場合があります。使用しないでください。

③特有の危険有害性

火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがあります。

④特有の消火方法

初期の火災には、粉末、二酸化炭素、などを用いてください。
大規模な火災の際には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効です。
周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却してください。
移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移してください。

⑤消火を行う者の保護

消火作業の際は空気呼吸器、化学用保護衣を着用してください。

〈漏出時の措置〉

①人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行ってください。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止してください。
処理作業の際には、保護具(ゴム手袋、保護めがね、呼吸用保護具等)を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガス・蒸気を吸入しないようにしてください。
風上から作業し、風下の人を退避させてください。
着火した場合に備えて、消火用機材を準備してください。
多量の場合は、人を安全に退避させてください。

②環境に対する注意事項

漏出物が河川等に流入しなように注意してください。河川等へ流入した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡してください。
悪臭等の発生のため、周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行ってください。

③回収、中和

少量の場合、乾燥砂、おがくず、布等で拭き取り、密閉できる容器に回収してください。後で廃棄処理してください。
多量の場合は、流路を毛布、土嚢等でせき止め、バキューム等で回収してください。

④封じ込め及び浄化の方法・機材

危険でなければ漏れを止めてください。
漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は、接地させてください。

⑤二次災害の防止策

付近の着火源を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火器を準備してください。

〈取扱い及び保管上の注意〉

①取扱い

作業場の換気を十分に行ってください。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用してください。
スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、またはフィルター付きの保護マスクを着用してください。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをしてください。

②保管

技術的な対策:
保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ってください。
保管場所は、屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないでください。
保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造にしてください。
保管場所の床は、危険物が浸透しない構造にするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ適当なため枡(ます)を設けてください。
保管場所には、取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設けてください。

保管条件:
凍結、直射日光を避け、換気の良い屋内に保管してください。
保管時の温度は5℃以下及び40℃以上にならないようにしてください。
使用後は、皮張り、腐敗防止のため、密閉して速やかに使用してください。

安全な容器包装材料:
消防法及び国連危険物輸送規則で規定されている容器を使用してください。

〈廃棄上の注意〉

①残余廃棄物

焼却する場合、関連法規・法令を遵守してください。
廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理してください。

②汚染容器及び包装

空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理してください。

〈輸送上の注意〉

①国際規則

国連番号　非該当
国連分類　非該当
容器等級　非該当

②特別の安全対策

運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。

詳細は製品安全データシート(MSDS)取扱説明書を参照するか、下記営業所にお問い合わせください。

このカタログの記載内容は'15.5月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

昭和電工建材株式会社

■本社・建設資材営業部　〒221-0024　横浜市神奈川区恵比須町2-1　TEL(045)444-1691　FAX(045)444-1699　http://www.sdk-k.com

■仙台営業所	〒983-0044	仙台市宮城野区宮千代3-2-14	TEL (022)236-7108	FAX (022)283-0694
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄2-9-26	TEL (052)218-8085	FAX (052)202-1202
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL (06)6100-2202	FAX (06)6100-1232
福岡営業所	〒812-0025	福岡市博多区店屋町5-22	TEL (092)281-9881	FAX (092)281-9505
■関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住関屋町1-4	TEL (03)3881-5001	FAX (03)3870-3952
東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL (022)231-2070	FAX (022)231-2073
中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市西区十方町172	TEL (052)501-2421	FAX (052)501-2424
関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL (072)641-6399	FAX (072)641-6401

[■ ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所]